

平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調書

(1) 取組名	利根川舟運による地域活性化事業		
(2) 実施団体名	利根川舟運・地域づくり協議会	(3) 対象地域	茨城県、千葉県の前川下流域(霞ヶ浦、手賀沼、印旛沼を含む)市町村
(4) 代表団体名	—	(5) 推薦団体名	—
(6)実施した取組の内容	取組①	利根川流域の舟運連携リレーイベントの実施	
	実施主体	取手市、香取市、我孫子市、潮来市等既存舟運実施自治体及び協議会メンバー自治体(リレーイベント)	
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容:既存の船着場を活用して社会実験として乗船体験を実施</li> <li>・実施時期:平成20年8月末～11月</li> <li>・実施場所:利根川流域(取手～香取間)</li> <li>・対象者:周辺市町村の住民</li> </ul> <p>・取組の目的:取手～銚子間の舟運リレーイベントで舟運の可能性を実証する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容:既存の船着場を活用し、社会実験として乗船体験を実施</li> <li>・実施時期:平成20年10月11日(土)、12日(日)、11月22日(土)(計3日間)</li> <li>・実施場所:利根川流域(取手～香取間、香取～霞ヶ浦～潮来間、香取～銚子間)</li> <li>・アンケートの対象者:周辺市町村の住民で乗船者204名(男女比率6:4、年齢別構成30代以下20%、40～50代32%、60代以上48%)</li> </ul> <p>・取組の結果:佐原の大祭時に、取手～香取間と香取～潮来間を大型船(霞ヶ浦で就航している船)・国土交通省利根川下流河川事務所と霞ヶ浦河川事務所の巡視船を用いて実施。11月22日は巡視船を用いて香取～銚子間を実施。アンケート結果について長距離の舟運実現に「たいへんよかった」61%、「まあまあよかった」36%との評価を得、舟運の実現に向けて十分な結果を得た。秋季以降は降水量が少ないため河川水位が比較的低く、大型船の安定した航路の水深確保が課題として残った。また、水深の浅い箇所対策や障害物の除去または目印の設置等が今後必要であることがわかった。</p>
	取組②	流域の河川空間を活用したイベントの実施	
	実施主体	協議会メンバー自治体	
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容:利根川の河川空間を活用したイベントの実施、または既存のイベント、祭りの開催に合わせて協議会によるイベントの実施</li> <li>・実施時期:平成20年9月～平成21年1月</li> <li>・実施場所:利根川流域</li> <li>・対象者:周辺市町村の住民</li> </ul> <p>・取組の目的:効果的な連携イベントを実施するため、利根川の河川空間を活用したイベントを検討して実施する。または既存イベント、祭事等との連携強化し、舟運と連携した展開を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容:利根川の河川空間を活用したイベントの実施(既存のイベント・祭りの開催に合わせて舟運の案内・宣伝、製品の試食会実施)</li> <li>・実施時期:平成20年10月5日、13日、19日、12月13日、平成21年1月4日、12日、17日(計7日間)</li> <li>・実施場所:取手市(河川祭り)、神崎町(コスモス祭り)、印西市(よかっぺまつり)、香取市(サイクリング大会・利根川渡船)、栄町(西の市・印旛沼舟運)、香取～銚子間(新春大利根ウォーク)、我孫子市(ウォーキング・手賀沼舟運)、香取～取手間(工場等見学・どんと祭り・利根川舟運)</li> <li>・アンケートの対象者:周辺市町村の住民で参加者及び乗船者162名(男女比率5:5、年齢別構成30代以下21%、40～50代32%、60代以上47%)</li> </ul> <p>・取組の結果:舟運と連携した展開を図るため、既存イベント・祭事の開催において、印旛沼で屋形船、手賀沼で水上バス、利根川で巡視船・渡船を用いて体験乗船を実施。他のイベント時においては舟運の案内・宣伝と製品の試食会を実施。アンケート結果について、イベント参加に「たいへん満足した」32%、「まあまあ満足した」61%との評価を得、既存のイベント・祭りの開催時に合わせて実施した協議会のイベントは十分な結果を得た。</p>
	取組③	農林漁業産品等の宣伝、販売	
実施主体	協議会メンバー自治体		
実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容:舟運、イベント等において地域の農林漁業産品等の提供販売を実施</li> <li>・実施時期:平成20年9月～平成21年2月</li> <li>・実施場所:利根川流域</li> <li>・対象者:周辺市町村の住民</li> </ul> <p>・取組の目的:舟運、イベント等において試食会を実施し、消費者の試食評価を確認し、地域の農林漁業産品等の提供販売を行い地域産業振興を支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容:リレーイベント等にて試食会、インタビュー・アンケート調査実施</li> <li>・実施時期:平成20年10月5日、11日、12日、13日、11月22日、12月13日、平成21年1月12日、17日(計8日間)</li> <li>・実施場所:取手市(河川祭り)、リレーイベント(取手～香取間、香取～潮来間、香取～銚子間)、神崎町(コスモス祭り)、栄町(西の市・印旛沼舟運)、我孫子市(ウォーキング・手賀沼舟運)、香取～取手間(工場等見学、どんと祭り、利根川舟運)</li> <li>・インタビューの対象者:12月13日(栄町西の市)、1月17日(取手市どんと祭り)参加者の一部(男女比率4:6、年齢別構成30代以下20%、40～50代45%、60代以上35%)</li> </ul> <p>・取組の結果:インタビュー調査によって、まだ市場に出ていない隠れた産品(無添加カステラ等)を確認することができた。また、地元の食材だけを使った自然嗜好、健康嗜好の名産が数多くあること、各市町村ともお酒や煎餅等バラエティーに富んでいることを把握した。アンケート結果より、「魚介類・米・野菜・果物・酒・漬物・お菓子のうち、産品として良いと思う品物」として、野菜、漬物、魚介類の順になり、今後の産品の開発へ反映させる貴重なデータ収集ができた。</p>	

	平成20年度の取組実施における体制・役割分担	取組の実施を踏まえた反省点	
(7)実施体制	<p>・利根川舟運・地域づくり協議会(主担当:取組①、②、③)            会員は市町村長、協議会の下に幹事会を設置し、地方の元気再生事業の事務局として、各取組の管理を行う他、関係者間の調整や広報等を担当。</p> <p>・茨城県、千葉県(担当:取組①、②、③)            事業支援として茨城県、千葉県。</p> <p>・大学等専門家(担当:取組①、②、③)            協議会の顧問として指導・助言。</p> <p>三浦名誉教授(日本大学)、山田教授(中央大)、吉川教授(日本大)。</p> <p>・関東運輸局(担当:取組①、②)            舟運関係の申請・指導</p> <p>・舟運事業者(担当:取組①、②)            船の準備・申請・現地運転対応</p> <p>・漁業協同組合(担当:取組①)            船着場にて船の出入・船着場における協力</p>	<p>・取組①リレーイベントにおいて、舟運事業者ラクスマリーナ(大型船)、ぶれきめら(小野川舟めぐり)、国土交通省(巡視船)の協力が得られたことにより、柔軟な対応、乗船人数の増大、イベント内容の充実等を実現した。関東運輸局より申請書類の指導、漁業協同組合より船着場での協力が得られたことにより、柔軟な対応が図られ、イベントが早期に実現した。</p> <p>・取組②イベントにおいて、舟運との連携にて、舟運事業者として印旛沼屋形船、手賀沼水上バス、利根川の渡船組合、水郷ボートの協力が得られたことにより、イベント内容の充実等を実現した。</p> <p>・取組③幹事会(各市の担当者)と地元商店街の協力により、製品の充実が実現された。</p> <p>・幹事会(各市の担当者)は、上記各取組の事務局機能に加え、限られた時間の中で参加者の募集や製品の協力要請等を実施し、互いに協力・分担することで取組内容、スケジュールともに予定通り実施することができた。</p>	
(8)取組により得られた成果	○成果1→	利根川下流域市町村連携による取手～銚子までの舟運リレーイベント実施	
		H19	H20(当初予定していた目標)
	各々自治体実施	既存舟運入込客に加えイベント等で客数を20%増	
		H20(実際に得られた成果)	
		<p>・取手～銚子間での舟運の可能性を実証。</p> <p>・既存舟運の乗船人数は、確認できた範囲で平成19年は47,061人、平成20年は46,736人(リレーイベント等で乗船した人数が284人を含む)。前年と比べて平成20年は約300人の減。平成20年の乗船人数の減少した原因としては、雨天による欠航が考えられる。ただし、本年度のリレーイベントは10月以降に開催したものであり、行楽シーズンである「あやめ祭り(5月頃)、佐原の夏の大祭(7月)」等より遅かったため、次年度における乗船者の増加が期待される。</p> <p>・香取市小野川舟運においては、リレーイベントにて中心地に位置し、イベント後の10月～12月の乗船人数を比較するとH19年の同時期に対して1.5倍に増加した。</p> <p>・リレーイベント時のアンケートでは、204名からの回答を収集。長距離の舟運実現に「たいへんよかった」61%、「まあまあよかった」36%と評価は良好であった。</p> <p>・秋季以降の利根川水位は、降水量の減少により低下するため、大型船の安定した航路・水深の確保が必要であることを確認した。</p>	
	○成果2→	利根川の河川空間を活用したイベントの実施	
		H19	H20(当初予定していた目標)
	一部自治体で川ウォーク等実施	複数自治体の連携による自治体域を超えたイベント実施	
		H20(実際に得られた成果)	
		<p>・既存のイベント・祭りの開催に合わせて計8イベント実施。</p> <p>・舟運を含めた連携イベントとして以下を実施。</p> <p>①西の市(印旛沼舟運)にて栄町と周辺5市町村(印西市、成田市、酒々井町、印旛村、取手市)と連携して実施。</p> <p>②手賀沼ウォーキング(手賀沼舟運)にて、我孫子市と周辺3市町(取手市、利根町、河内町)と連携して実施。</p> <p>③どんど祭り(利根川舟運)にて、取手市と2市町(香取市、東庄町)と連携して実施。</p> <p>・イベント・舟運のアンケートでは162名からの回答を収集。イベント参加に「たいへんよかった」32%、「まあまあよかった」61%と評価は良好であった。</p>	
○成果3→	農林漁業産品等の宣伝、販売		
	H19	H20(当初予定していた目標)	
各々自治体実施	複数自治体の連携による自治体域を超えた宣伝、販売実施		
	H20(実際に得られた成果)		
	<p>・イベント・祭りの開催時に合わせて地域の農林漁業産品等の宣伝、試食会、アンケート、インタビュー実施。</p> <p>・試食会では毎回複数の自治体より試食品を提供することができ、試食会アンケートでは、204名からの回答を収集できた。例として「魚介類・米・野菜・果物・酒・漬け物・お菓子のうち、産品として良いと思う品物」として、野菜、漬け物、魚介類の順となり、次年度における産品の開発へ反映させる貴重なデータ収集ができた。</p> <p>・インタビュー調査によって、まだ市場に出していない隠れた産品を確認することができた。</p>		

<p>(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点</p>	<p>・舟運リレーイベントとして、利根川における取手～銚子間、香取～霞ヶ浦～潮来間の舟運可能性を実証済。今後は独自の体制で展開できるように、将来的な方策を検討し、採算ベースに乗せるための継続的な分析を実施。</p> <p>・リレーイベントの本格展開に向けた課題として、秋季以降の河川水位が比較的低い時期においても大型船が安全に安定した運行を確保するための航路・水深の確保を図るための検討、また、舟運のさらなる内容の充実を図るため引き続き乗船者評価の収集等を図る必要がある。特に、事業の安定化を図るには、リピーターの確保と交通路・船着場等の確保が必要と考えられる。さらに行楽シーズンの開催が効果的であることから、時間に余裕を持たせ、できるだけ早い時期から、HPの活用や県・観光協会等との協力によって広範囲(首都圏からの集客、外国人観光客等)で募集することが重要であると考えられる。</p> <p>・利根川の河川空間を活用したイベントを計8回実施済。今後は新たなイベント(健康増進や自然体験型のウォーキング・サイクリングや周辺小中学生への地域の自然や歴史・文化を学習する機会等)の実施に向け、アンケート結果等を踏まえた検討を行う必要がある。さらに内容の充実を図るため、引き続き参加者の評価の収集を図る必要がある。</p> <p>・舟運リレーイベント及び空間を活用したイベント時において地域の農林漁業産品の宣伝、試食会を実施。収集した産品資料をもとに、オリジナル名産品の開発に反映させる必要がある。</p>	
<p>(10)平成21年度以降の活動の見込み</p>	<p>当初提案に予定していた平成21年度以降の展開</p> <p>1. 利根川舟運連携リレーイベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利根川舟運の本格化に向けた展開に関する検討と実施(平成21年7月～平成22年3月)</li> <li>・本格的な事業展開(平成22年～平成25年)</li> </ul> <p>2. 流域の河川空間活用イベントの展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流域の河川空間利用イベントの展開に関する検討と実施(H21年7月～H22年3月)</li> <li>・本格的な事業展開(H22年～H25年)</li> </ul> <p>3. 農林漁業産品の販売促進企画の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農林漁業産品の販売促進の展開に関する検討と実施(H21年7月～H22年3月)</li> <li>・本格的な事業展開(H22年～H25年)</li> </ul>	<p>今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度</p> <p>1. 利根川舟運連携リレーイベントの実施(平成21年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体:利根川舟運・地域づくり協議会と舟運事業者、漁業協同組合等の連携による</li> <li>・実施時期:平成21年5月～11月</li> <li>・実施対象:広範囲(千葉県、茨城県、東京都、埼玉県、神奈川県等)</li> <li>・取手～銚子間の舟運リレーイベントで不定期船の運行の可能性を検討する。具体的には、行楽シーズンである「あやめ祭り(5～6月)の時期、佐原の夏の大祭(7月)」・夏休みにおける舟運リレーイベントを実施する。さらに、今後、継続的に運営展開ができるよう経営上の観点からも民間舟運事業者等との協議を行い、実施体制や方策について評価・分析を行う。また、船着場については国交省・市町村で調整し整備を進めていく。</li> </ul> <p>[活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額1000万円)]</p> <p>2. 流域の河川空間利用イベントの展開(H21年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体:利根川舟運・地域づくり協議会と舟運業者の連携による</li> <li>・実施時期:平成21年5月～平成22年1月</li> <li>・実施対象:広範囲(千葉県、茨城県、東京都、埼玉県、神奈川県等)</li> <li>・平成20年度実施イベントに加えて、新たな健康イベント(ウォーキング、サイクリング等)や自然体験型イベント(キャンプ、釣り等)として、アンケート結果等を踏まえた上で場所・時期・コース等を検討し実施する。さらに、実施イベントの定着化、定期化、既存イベント・祭事等との連携強化に向けて、アンケート結果等を参考に改善内容を検討し、的確にイベント等へ反映させる。</li> </ul> <p>[活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額900万円)]</p> <p>3. 農林漁業産品の販売促進企画の展開(H21年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体:利根川舟運・地域づくり協議会</li> <li>・実施時期:平成21年5月～平成22年2月</li> <li>・実施対象:広範囲(千葉県、茨城県、東京都、埼玉県、神奈川県等)</li> <li>・対象地域の農林漁業産品の紹介のため、「利根川食紀行絵図」を作成する。さらに、農林漁業産品の開発のため、インタビュー・アンケート結果等を参考に改善内容を検討してオリジナル名産品に反映させる。また、産品調査によって明らかになった事業者間と連携することにより幅広くPRする機会を設けること、料理アドバイザー等を招聘して新たに「利根川の名物料理」を開発すること、市町村間で連携しながら展開していくことを目標とする。</li> </ul> <p>[活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額800万円)]</p>

## ◆主な実施取組の内容◆

### 実施取組内容・結果

#### 取組1: 利根川流域の舟運連携とリレーイベントの実施

##### 取手～銚子までの舟運リレーイベント実施

- ・10/11 佐原の大祭時に取手～香取間(145名乗船)
- ・10/12 香取～霞ヶ浦～潮来(90名乗船)
- ・11/22 香取～銚子間(38名乗船)

舟運連携実施(3日間合計273名乗船)、アンケートでは204名からの回答を収集、長距離の舟運実現に「よかった」61%・「まあまあよかった」36%と評価は良好。



大型船 (10/11, 12)



巡視船 (10/11・12, 11/22)



舟運リレーイベント

問 今回事町村連携による長距離の舟運実現についてどう思いましたか。(回答204名)



### 実施取組内容・結果

#### 取組2: 利根川の河川空間を活用したイベントの実施(既存のイベントに合わせて舟運の案内・宣伝、試食会の実施)

- 10/5 取手市: 利根川河川祭り、10/13 神崎町: 神崎コスモス祭り、
  - 10/19 印西市: よかっぺ夢まつり、10/19 香取市: サイクリング大会・利根川渡船
  - 12/13 栄町等: 酉の市・印旛沼、1/4 香取市・銚子市等: 新春大利根ウォーク
  - 1/12 我孫子市等: 手賀沼ウォーキング、1/17 取手市等: 取手市どんど祭り
- 計8イベント実施、アンケートでは162名からの回答を収集、イベント参加に「たいへん満足した」32%・「まあまあ満足した」61%と評価は良好。



酉の市・印旛沼 (12/13)



手賀沼ウォーキング (1/12)



問 今回イベントに出られてどう思いましたか。(回答162名)



## ◆取組実施による成果・今後の展開◆

- ・本年度舟運リレーイベント3回実施し、利根川(取手～銚子)・霞ヶ浦(香取～霞ヶ浦～潮来)での舟運可能性を実証した。今後は独自の体制で展開できるように、将来的な方策を検討し、採算ベースに乗せるための継続的な分析を実施する(不定期船の運航の可能性、商工会議所等との協力体制の強化、行楽シーズン時期の実施、秋季以降の大型船の航路・水深確保、県・観光協会等との協力にて利根川沿川以外の広範囲な募集等)。
- ・本年度利根川の河川空間を活用したイベント8回実施した。今後は新たなイベント(健康増進や自然体験型イベントのウォーキング・サイクリングや周辺小中学生への地域の自然や歴史・文化を学習する機会等)の実施に向け、アンケート結果等を踏まえた検討を行い、実施イベント内容の充実とともに、実施期間の定期化を図る。